P.M号外ニュース

1933.4.26

東京市渋谷区上渋谷一〇四八一
日本プロレタリア音楽同盟

メーデーは五日後に迫った

P・M常中委書記局

同志諸君！

我々のメーデー準備は如何に斗はれて来たか？前号ニユースに示された、アジ・プロ活動、組織活動、創造的活動はどの様に進展してゐるか？今、これらの活動の進行状態を厳密に点検し、鋭い拍車かけ、メーデーへの数日を一〇〇%に斗かぬく事が我等の課題である。東京支部は、メーデーを前にして移動活動及び創作活動を盛り上げつゝある。即ち、極めて小人数乍ら移動音楽隊はプロットのメザマシ隊と共同して、活溌な活動をつゞけて居り、そのための作詩、作曲が精力的に敏活に押し進められ、すぐれた成果を収めてゐる。余すところ僅かに数日間ではあるが、この間の死物狂の活動は我等のメーデー斗争を成功させるだらう。

☆社会ファシストのメーデー分裂政策撃破・労働者統一メーデー組織の為に！

☆国粋ファシスト反動暴力団の襲撃メーデー粉砕の為に！

経営目指してのアジ・プロ　労働者のピクニック集会に於けるアジ・プロ、その成果の敏活な組織化、サークルの座談会等を完継早に敢行せよ！

メーデー斗争が反戦斗争に結びつけらるべきはあらためて云ふ迄もない。さし迫った反ソヴエート戦争の危機、上海反戦大会支持等が、強力にアジ・プロされねばならぬ。

是等の活動に、多数の同盟員を捲込む事によつて、現在我等が持ってゐる同盟内の大きな不活動部分の克服に努めねばならぬ。この活動は当然メーデー当日の斗争に全同盟員が参加する事によつてはじめて充分なものと云へる。現在我々が根強く残してゐる大衆的行動に対する完全な日和見主義はメーデーに於て克服し盡さねばならぬ。

コップ中央機関紙

コップ発刊さる！

吾がプロレタリア文化運動が正しい政治的線に沿って、経営内活動を基礎に発展して来た現在文化運動の全面的全国的アジ・プロ組織者としての中央機関紙が緊急に要望され、かゝるものとして「コップ」が発刊された。（従来迄の「プロレタリア文化」は理論機関誌として残る）

吾が同盟の全同盟員はコップ読者となることは勿論経営農村内の吾が同盟の影響範囲に精力的に読者を獲得しなければならぬ。

発刊基金としてわが同盟の負擔額は拾円である各支部支準は同盟員一人当り最低五銭以上の割当を定め、至急本部迄送付せよ。

☆コップ発刊万才！

☆紙代完納によるその防衛を斗へー！

同盟費完納を斗へ

各支部[illegible]財政的な困難の為に其の活動の円滑を欠いて特に東京支部に於て甚しい。同支部の同盟費滞納額は六百円をこえてゐる。又本部は出版活動が活気づいて来たが、誌代の回収が全然ついてゐず、現在赤字以外一銭の財産もない。出版活動が盛上りを持続する為に、財政的余裕を作[illegible]す事は絶対に急務である。

活動的分子は飯を食はず、一日数里を徒歩し、同盟の仕事の為に自分の費用を見出して働いてゐる様な始末だ。この様な状態では同盟の活動は遠からず中絶するであらう。同盟費完納によつて同盟の活動をはかり、盛り上げよ。

四月の本部費はどこからも未だ来てゐない。本部費書記局は、通信費に事かいてゐる。至急送付せよ！！

（前号二五一頁の財政報告は書記局と財政部の連絡不充分の為全然誤りである。次号二五一頁に訂正を出す。）